

関係者各位

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、赤潮発生の原因種であるカレニア ミキモトイが最大0.01細胞/ml、カレニア デジタルータが最大0.02細胞/ml、シャトネラ オバータが最大0.01細胞/ml確認されました。現在の細胞数は非常に少ないですが、細胞数の急激な増加も考えられるため、今後の海色や飼育魚の状態を注視し、飼育魚にストレスがかからないよう十分注意してください。

また麻痺性貝毒の原因種であるアレキサンドリウム属が最大0.2細胞/ml確認されました。

本日の調査においては、沿岸の調査地点(片島、青瀬山、ヒロウラ、田ノ浦)にて、ケイ藻類が多く確認されました。他県の観察結果によるとケイ藻類の増加が見られた後に、有害赤潮プランクトンの増殖が確認された例もありますので、注意をお願いします。

今後、飼育魚や海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※(本日の調査は、海水100mlを1mlに濃縮し、プランクトンの検鏡を実施しています。)

採集地点 採水時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	カレニア ミキモトイ	カレニア デジタルータ	シャトネラ オバータ	アレキサンドリウム属
	(m)	(℃)	(psu)	(mg/l)				
片島 (別図⑦) 採水時間 9:15 透明度 - m	5.0	21.0	34.2	7.0	0	0	0	0.02
藻津定点 (別図⑨) 採水時間 9:23 透明度 - m	10.0	21.7	34.6	6.7	0	0	0	0
宿毛湾中央 (別図⑤) 採水時間 9:33 透明度 - m	10.0	21.8	34.5	6.1	0	0	0	0
青瀬山 (別図③) 採水時間 9:46 透明度 - m	8.0	21.8	34.5	7.1	0.01	0	0	0
ヒロウラ (別図①) 採水時間 10:00 透明度 - m	10.0	21.7	34.5	6.9	0.01	0.02	0.01	0
田ノ浦 (別図⑧) 採水時間 10:33 透明度 - m	5.0	21.9	34.4	6.6	0	0	0	0.2